

2019年度 推薦入学試験（一般推薦等） 産業情報学部 産業情報学科「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
43	43

※一般推薦（指定校含む）、文化活動推薦、専門・総合推薦の総計

2. 産業情報学科 アドミッション・ポリシー

1. 将来の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人物。
2. 情報科学や産業・経済に興味があり、産業情報学科で学びたいことを明確に持ち、意欲的・主体的に勉学に励むことのできる人物。

A O型入学試験のアドミッション・ポリシー

産業情報学科では産業社会(経済・金融・企業経営など)の基本的なしくみと情報技術について学び、経済活動や日常生活と情報技術の深い結びつきを理解することで、個人が地域社会において果たすべき役割について認識を深めます。

理論と実践が融合したカリキュラムにより、あらゆる産業分野において情報化を推進する「産業の情報化」、情報技術を基に企業や産業の創出・発展を企画し実行する「情報の産業化」が担える人材の輩出を目標としています。

また、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をA O型入学試験によって受け入れ、個性に柔軟に対応した教育を行い、多元的な社会で活躍できる人材を育成します。A O型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

- ①他者に誇れる活動を行った、あるいは行っている人
- ②産業情報学科で学びたい事を明確にアピールできる人
- ③大学卒業後の具体的なビジョンを描き、自己研鑽できる人

3. 出題の意図

この小論文の出題意図は、受験生が、「産業の情報化」および「情報の産業化」が担える人材の輩出を目標とする産業情報学科で学ぶ上で必要な能力をどの程度持っているかを見ることにある。そのため、本小論文は、主に産業・経済分野における情報通信技術の活用や新産業の創出などに関する基本的な関心や理解の程度および想像力などを測る内容であり、本学科のアドミッション・ポリシーとは整合していると考えられる。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

上述した主に測る内容について、優れた学生を特に高く評価したい。